

## 第70回全国植樹祭愛知県実行委員会第7回総会議事概要

- 開催日時 平成31年1月8日（火）13:45～14:30
- 場所 愛知県議会議事堂5階大会議室
- 出席者 別添名簿のとおり
- 内容
  - 1 挨拶  
大村会長より出席者に向けて挨拶。
  - 2 議事
    - (1) 第70回全国植樹祭実施計画（案）について  
原案どおり承認。
    - (2) 第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会則の改正について  
原案どおり承認。
  - 3 報告  
専門委員会の開催状況について説明。

以上

### 【配布資料】

次第

出席者名簿

配席図

資料1 【議案1】 第70回全国植樹祭実施計画（案）について

資料2 【議案2】 第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会則の改正について

資料3 【報告】 専門委員会の開催状況について

# 第70回全国植樹祭愛知県実行委員会第7回総会

## 次 第

日 時 平成31年1月8日（火）  
13時45分から14時30分まで  
場 所 愛知県議会議事堂5階大会議室

1 開会

2 挨拶

3 議事

【議案1】第70回全国植樹祭実施計画（案）について （資料1）

【議案2】第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会則の  
改正について （資料2）

4 報告

専門委員会の開催状況について （資料3）

5 閉会

6 その他

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第7回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名	
	所属	職名	氏名			
委員	会長	愛知県	知事	大村 秀章	出	
	学識 経験者※	名古屋大学大学院 生命農学研究科	教授	戸丸 信弘	欠	
		名古屋大学大学院 生命農学研究科	准教授	山崎 真理子	欠	
		日本福祉大学健康科学部 福祉工学科	副学長	福田 秀志	欠	
	経済※	愛知県経営者協会	会長	加藤 宣明	出	総務・企画部長 岩原 明彦
		愛知県商工会議所連合会	会長	山本 亜土	欠	
		愛知県商工会連合会	会長	新美 文二	出	専務理事 高橋 徹
		愛知県商店街振興組合連合会	理事長	坪井 明治	出	専務理事兼事務局長 鍋澤 宗之
		愛知県信用金庫協会	会長	近藤 実	出	事務局長 磯貝 剛
		愛知県中小企業団体中央会	会長	長谷川 正己	出	専務理事 石川 泰三
		中部経済同友会	代表幹事	嶋尾 正	出	事務局次長 坂井 康郎
		一般社団法人中部経済連合会	会長	豊田 鐵郎	出	総務部 担当部長 亀井 勝彦
		一般社団法人名古屋銀行協会	会長	中村 昭彦	出	専務理事 野原 強
		名古屋市商店街振興組合 連合会	理事長	坪井 明治	出	専務理事・事務局長 社本 謙
		公益社団法人日本青年会議所 東海地区愛知ブロック協議会	会長	浅野 弘義	欠	
	農林水産・建設※	愛知園芸商組合	理事長	蟹江 孝信	欠	
		愛知県花き温室園芸組合連合 会	会長	中神 享三	出	事務局長 鶴賀 由樹子
		愛知県花き市場組合	理事	吉田 豊	出	
		愛知県漁業協同組合連合会	代表理事会長	山下三千男	欠	
		愛知県経済農業協同組合 連合会	経営管理委員会 会長	白井 良始	出	企画管理課長 辻井 崇起
		一般社団法人愛知県建設業 協会	会長	藤本 和久	出	専務理事 大西 克義
		愛知県森林協会	会長	三浦 孝司	欠	
		愛知県森林組合連合会	代表理事会長	村松 幹彦	出	
		一般社団法人 愛知県造園建設業協会	会長	梅岡 美喜男	出	
		公益社団法人愛知建築士会	会長	柳澤 講次	出	
		愛知県内水面漁業協同組合 連合会	会長	峰野 修	出	
		愛知県農業協同組合中央会	会長	前田 隆	出	総務企画部 主管 板倉 孝延
一般社団法人愛知県木材組合 連合会		会長	西垣 洋一	出		

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第7回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名	
	所属	職名	氏名			
委員	農林水産・建設※	公益社団法人愛知県緑化推進委員会	理事長	森岡 仙太	出	
		愛知県緑化木生産者団体協議会	会長	小林 功	欠	
		愛知県林業種苗協同組合	理事長	前田 臣代	出	
		愛知豊明花き流通協同組合	理事長	永田 晶彦	出	大田 美理夫
		愛知名港花き卸売事業協同組合	理事長	井上 稔	出	
		名古屋生花小売商業協同組合	理事長	川島 悦雄	出	
		一般社団法人日本木工機械工業会	理事長	井本 希孝	欠	
	市民・福祉・教育※	愛知県公立高等学校長会	会長	竹下 裕隆	出	愛知県立城北つばさ高等学校長 金子 悟
		愛知県私学協会	会長	石田 正城	出	
		社会福祉法人愛知県社会福祉協議会	会長	大沢 勝	出	専務理事 安藤 貴康
		愛知県小中学校長会	会長	松村 光洋	出	
		愛知県女性団体連盟	会長	加藤 愛子	出	副会長 鈴木 千代子
		愛知県特別支援学校長会	会長	各務 泰	出	
		一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟	連盟長	森 幸子	欠	
		一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟	理事長	永井 淳	出	事務局長 浅井 裕己
		名古屋市小中学校長会	会長	川北 貴之	欠	
	観光・運輸※	一般社団法人愛知県観光協会	会長	山本 亜土	出	専務理事 鈴木 隆
		愛知県タクシー協会	会長	青木 良浩	欠	
		一般社団法人愛知県トラック協会	会長	小幡 銀伸	欠	
		公益社団法人愛知県バス協会	専務理事	小林 裕之	欠	
		中部国際空港株式会社	代表取締役社長	友添 雅直	出	取締役執行役員 近藤 正人
		東海旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	金子 慎	欠	
		名古屋タクシー協会	会長	天野 清美	出	常務理事 太田 慶祐
		名古屋鉄道株式会社	代表取締役社長	安藤 隆司	欠	
	国・自治体等	林野庁中部森林管理局	局長	宮澤 俊輔	出	名古屋事務所 副所長 木島 伸悟
		愛知県市長会	会長	中野 正康	欠	
		愛知県町村会	会長	竹内 啓二	出	
		名古屋市	市長	河村 たかし	出	

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第7回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名	
	所属	職名	氏名			
委員	国・自治体等	尾張旭市	市長	—	欠	
		愛知県議会	議長	松川 浩明	出	
		愛知県議会農林水産委員会	農林水産委員長	高桑 敏直	出	
		愛知県	副知事	森岡 仙太	出	
		愛知県政策企画局	政策企画局長	横井 篤史	出	
		愛知県総務部	総務部長	長谷川 洋	出	総務部総務課 主幹 佐藤 正美
		愛知県振興部	振興部長	野村 知宏	出	
		愛知県県民文化部	県民文化部長	鳥居 保博	出	
		愛知県環境部	環境部長	森田 利洋	出	
		愛知県健康福祉部	健康福祉部長	平田 雅也	出	
		愛知県産業労働部	産業労働部長	伊藤 浩行	出	
		愛知県農林水産部	農林水産部長	高橋 智保	出	
		愛知県農林水産部農林基盤局	農林水産部 農林基盤局長	勝又 久幸	出	
		愛知県建設部	建設部長	河野 修平	出	技監 鎌田 裕司
		愛知県教育委員会	教育長	平松 直巳	出	
		愛知県警察本部	本部長	加藤 達也	出	
		愛知県県有林事務所	県有林事務所長	服部 晋也	出	
監事	愛知県	会計管理者	田中 正剛	出		
	尾張旭市	会計管理者	毛利 重成	出		
参与※	愛知県ケーブルテレビ協議会	会長	小野 哲彦	出	事務局 石川 浩紀	
	株式会社朝日新聞社 名古屋本社	名古屋本社代表 執行役員	長 典俊	出		
	伊勢新聞社名古屋支社	名古屋支社長	佐飛 宏尚	欠		
	株式会社エフエム愛知	代表取締役社長	加藤 義智	欠		
	株式会社花卉園芸新聞社	代表取締役	浅田 秀逸	欠		
	株式会社岐阜新聞社 名古屋支社	執行役員 名古屋支社長	小島 義弘	欠		
	一般社団法人共同通信社 名古屋支社	名古屋支社長	井原 康宏	欠		
	株式会社建通新聞社 中部支社	取締役 中部支社長	品川 明臣	欠		
	株式会社産業経済新聞 大阪本社編集局中部総局	総局長	櫻井 大輔	欠		

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第7回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名
	所属	職名	氏名		
参与※	株式会社時事通信社 名古屋支社	支社長	高橋 正光	欠	
	株式会社静岡新聞社 名古屋支社	支社長	杉山 都彦	欠	
	株式会社ZIP-FM	代表取締役社長	稲葉 功	欠	
	信濃毎日新聞株式会社 名古屋支社	名古屋支社長	中澤 勉	欠	
	株式会社CBCテレビ	代表取締役社長	林 尚樹	出	事務局事業部 専任局次長 北島 徹也
	株式会社CBCラジオ	代表取締役社長	升家 誠司	欠	
	中京テレビ放送株式会社	代表取締役社長	小松 伸生	出	総務部部长 藤田 恭弘
	株式会社中日新聞社	代表取締役社長	大島 宇一郎	出	事務局社会事業部長 菊永 博
	株式会社中部経済新聞社	代表取締役社長	恒成 秀洋	欠	
	テレビ愛知株式会社	代表取締役社長	宮本 明彦	欠	
	東海テレビ放送株式会社	代表取締役社長	内田 優	出	総務局総務部参事 稲田 卓
	株式会社東海日日新聞社	代表取締役社長	白井 収	欠	
	東海ラジオ放送株式会社	代表取締役社長	小畑 耕一	欠	
	名古屋テレビ放送株式会社	代表取締役社長	横井 正彦	出	総務部部长 谷口
	株式会社日刊建設工業新聞社 名古屋支社	取締役支社長	坂川 博志	欠	
	株式会社日刊建設通信新聞社 中部支社	支社長	水谷 幸二	出	
	株式会社日刊工業新聞社 名古屋支社	執行役員 名古屋支社長	嶋崎 直	欠	
	株式会社日刊木材新聞社	代表取締役社長	岡田 直次	欠	
	株式会社日本経済新聞社 名古屋支社	常務執行役員 名古屋支社代表	山崎 宏	欠	
	株式会社日本農業新聞 中部支所	中部支所長	福本 卓郎	欠	
	日本放送協会名古屋放送局	名古屋放送局長	島田 敏男	出	企画総務部 副部長 児玉 晃佳
	株式会社東愛知新聞社	代表取締役	本多 亮	欠	
	株式会社毎日新聞社 中部本社	執行役員 中部代表	若菜 英晴	欠	
	株式会社木材工業新聞社	代表取締役	片桐 峯生	出	取締役 編集次長 春日 信之
	株式会社読売新聞東京本社	執行役員 中部支社長	依田 裕彦	欠	
	株式会社林経新聞社	代表取締役	橋爪 良和	出	

※ のついている区分は、「五十音順」で記載

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会第7回総会 配席図

日時 平成31年1月8日(火)  
13:45~14:30  
場所 愛知県議会議事堂  
5階 大会議室

マイク 設備									
出入口	副知事 名古屋市長 県議会議長 知事			演台			議長席		
次長(司会)	I H G			F E D			C B A		
技監	1 愛知県商店街振興組合連合会 愛知県商工会連合会 愛知県経営者協会			愛知県公立高等学校校長会 愛知県町村会 林野庁中部森林管理局			愛知県議会農林水産委員会 愛知園芸商組合 名古屋大学大学院生命農学研究所		
推進監	2 中部経済同友会 愛知県中小企業団体中央会 愛知県信用金庫協会			愛知県小中学校長会 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 愛知県私学協会			愛知県経済農業協同組合連合会 愛知県花き市場組合 愛知県花き温室園芸組合連合会		
室長	3 名古屋市商店街振興組合連合会 一般社団法人名古屋銀行協会 一般社団法人中部経済連合会			一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 愛知県特別支援学校校長会 愛知県女性団体連盟			愛知県森林組合連合会 愛知県森林協会 一般社団法人愛知県建設業協会		
林務課長 保全課長 事務局員	4 名古屋タクシー協会 中部国際空港株式会社 一般社団法人愛知県観光協会			愛知県林業種苗協同組合 愛知県農業協同組合中央会 一般社団法人愛知県木材組合連合会			愛知県内水面漁業協同組合連合会 公益社団法人愛知建築士会 一般社団法人愛知県造園建設業協会		
	5 愛知県健康福祉部 愛知県環境部 愛知県県民文化部			愛知県振興部 愛知県総務部 愛知県政策企画局			名古屋生花小売商業協同組合 愛知名港花き卸売事業協同組合 愛知豊明花き流通協同組合		
	6 尾張旭市会計管理者 愛知県会計管理者 愛知県県有林事務所			愛知県警察本部 愛知県教育委員会 愛知県建設部			愛知県農林基盤局 愛知県農林水産部 愛知県産業労働部		
	7 日本放送協会名古屋放送局 株式会社日刊建設通信新聞社中部支社 名古屋テレビ放送株式会社			東海テレビ放送株式会社 株式会社中日新聞社 中京テレビ放送株式会社			株式会社CBCテレビ 株式会社朝日新聞社名古屋本社 愛知県ケーブルテレビ協議会		
	8			株式会社林経新聞社 株式会社木材工業新聞社					
	9			随行者席					
	10								
	11			傍聴者席					
	12								
	13			記者席					
出入口									

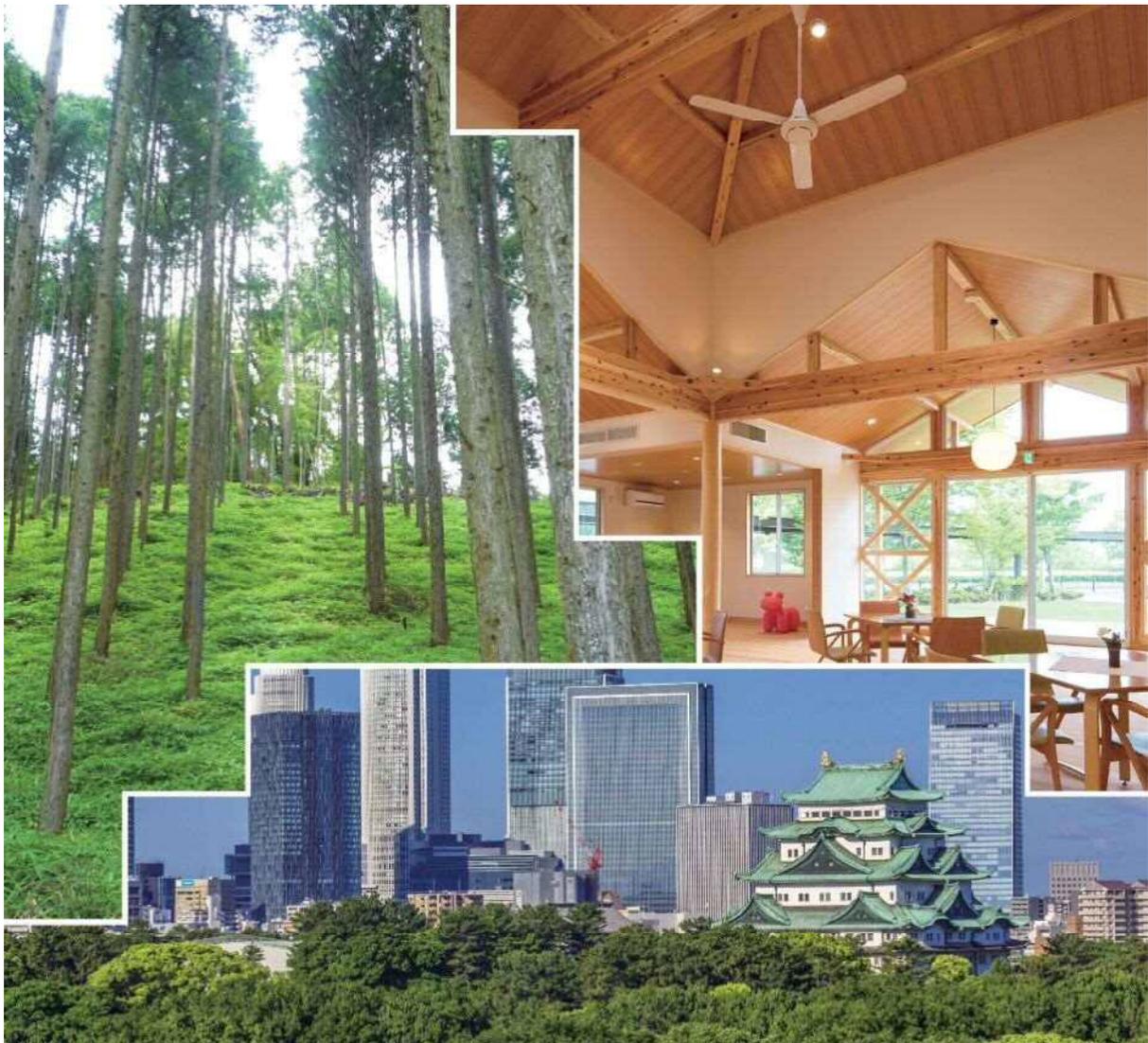


# 第70回 全国植樹祭 あいち 2019

～木に託す もり・まち・人の あす・未来～

## 実施計画 (案)

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会



## 第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 大会テーマ	3
4. マスコットキャラクター	3
5. 大会ポスター原画	3
6. 大会イメージソング	3
7. 開催日	4
8. 主催	4
9. 開催規模	4
10. 開催会場	4

## 第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	6
2. 式典の運営	6
3. 式典進行プログラム	7
4. 式典演出の概要	10
5. 音響・映像システム計画	12
6. 式典演出準備スケジュール	13

## 第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	14
2. お手植え計画	15
3. お手播き計画	17
4. 代表者記念植樹計画	20
5. 招待者記念植樹計画	21
6. 植樹要領	23
7. 植樹会場整備計画	25

## 第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	28
2. 施設配置計画	28
3. 主要施設計画	31
4. サイン計画	34
5. 飾花計画	35
6. 電気・給排水・通信設備計画	37

## 第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	38
2. 招待計画	38
3. 行動計画	39
4. 受付計画	41
5. 特別接伴計画	43
6. 作品御覧・レセプション計画	44
7. 会場内動線計画	45
8. 会場おもてなし計画	46
9. サテライト会場計画	48
10. 昼食計画	49
11. 医療・衛生計画	50
12. 消防・防災・警備計画	51
13. 実施本部計画	54
14. 研修・リハーサル計画	55
15. 雨天時・強風時対応計画	56

## 第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方	57
2. 宿泊計画	58
3. 輸送計画	59
4. 運行管理体制・緊急時対応	61
5. 道路交通対策	61

## 第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	62
2. 会場	62
3. 開催規模	63
4. 運営計画	63

## 第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	68
2. 記念事業	68
3. 関連事業	70

## 第9章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方	71
2. 広報計画	71
3. 協賛計画	72

## 第1章 開催概要

### 1. 開催意義

本県は、主力産業である自動車産業をはじめ、繊維や陶磁器などの伝統産業からロボットなどの次世代産業まで、ものづくりが盛んな「日本一のものづくり県」であり、2027年の開業をめざすリニア中央新幹線、国産初のジェット旅客機MRJなど、日本の未来を創るプロジェクトが、この愛知を舞台に大きく羽ばたこうとしています。

また、全国屈指の農業県であり、中でも花きは、1962年から現在まで全国第1位を誇っています。

加えて、2005年の「愛知万博」、2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」、2014年の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」といった国際的なイベント開催により培われてきた県民の高い環境意識を生かし、環境施策においてトップランナーである「環境首都あいち」の実現を目指しています。

2015年には「全国都市緑化フェア」を開催するなど、緑や環境をテーマとした取組を継続的に行うとともに、山から街まで森や緑を守る「あいち森と緑づくり税」を導入し、独自の事業を展開しています。

また、公共建築物等木材利用促進法に基づく都道府県方針である「あいち木づかいプラン」や県内全ての54市町村が策定した市町村方針により、官民一体となって住宅や公共施設等への県産木材の利用拡大も進めています。

こうした中で、2019年に、第70回全国植樹祭を愛知県で開催することになりました。愛知県での開催は、1979年以来40年ぶり、2回目となります。

第70回全国植樹祭を「愛知の誇るものづくりの伝統と文化」、「森と緑づくりや木づかい」など、本県の魅力や取組を全国に発信する機会とします。

### 愛知県における全国植樹祭の開催状況

愛知県では、1979年5月27日、西加茂郡藤岡町（現在の豊田市）にて、天皇皇后両陛下をお迎えし、「緑で結ぼう山村と都市」を大会テーマに、第30回全国植樹祭を開催しました。

この大会では、天皇陛下がヒノキを、皇后陛下がハナノキをお手植えになるとともに、南設楽郡鳳来町（現在の新城市）にて、スギとヒノキをお手播きになりました。

また、約2万人の参加者により、ツブラジイ、シラカシ、アラカシ等の記念植樹が行われました。



天皇陛下お手植え



天皇陛下お手播き



記念植樹

## 2. 開催理念

本県は、日本のほぼ中央に位置し、南は太平洋に面し、西部から南部にかけての一带は平坦で、濃尾平野、岡崎平野、豊橋平野が形成されており、東部には、三河山間部が広がるなど、多様な環境に恵まれています。

また、中京工業地帯の中心として、航空宇宙やファインセラミックス、エレクトロニクス等の先端産業や自動車産業等、世界でも有数な産業集積を誇り、製造品出荷額等が、1977年から現在まで全国第一位を誇る「日本一のものづくり県」です。

本県の「ものづくりの歴史」を振り返りますと、江戸時代において、名古屋では、木曾川を経て運ばれてくる良質な木材の一大流通拠点であったことや、名古屋城築城の際に集められた職人が定住化したことから、木材を利用した街づくりはもちろんのこと、「からくり人形づくり」や「山車づくり」、「家具製造」などを通じて、「木材を利用する技術」が培われました。

明治時代においては、こうした「木材を利用する技術」から発展した、時計、鉄道車両、楽器、航空機、織機などの近代産業をもたらし、本県の工業発展の礎となっています。まさに、木材の利用は、本県のものづくりの原点となっています。

一方、本県の「森林づくりの歴史」につきましては、古くは、自然に育った幼樹を採取し、苗木として植樹していました。

江戸時代から明治時代において、三河地方を中心に、種から苗木を育てる技術が発達し、容易にかつ多くの苗木を確保することが可能となり、植樹が進みました。また、尾張地方を中心に、燃料としての森林の伐採等によりハゲ山が広がっていましたが、尾張藩による植樹やヨーロッパの技術を取り入れて実施された治山事業などにより復旧されました。

戦後においては、復興の際に伐採された森林の緑化促進や高度成長期の木材需要の高まりを背景に、植樹が進められました。

こうした先人の方々のたゆまぬ努力が礎となり、現在は県土面積51万7千haのうち21万8千haが森林となっています。

また、人工林の割合は64%で、全国平均の46%を大きく上回り、人工林のうち、成熟して利用できる時期に達している森林の面積は76%と全国平均の52%に比べて大きな割合を占めています。

このように、森林資源が充実し、本格的な利用期を迎えている今こそ、木材利用を推進していくことが重要です。

木材の利用は、林業・木材産業を活性化するとともに、森林整備を促進することから、水を蓄え山崩れを防ぐなど、森林の有する多面的機能の持続的な発揮につながります。

さらに、木材の持つ柔らかさ、温かさといった特性は、快適で健康的な生活環境をもたらしてくれます。

このため、本県では、名古屋市を中心とした大消費地を抱える特性を生かし、住宅や公共建築物、街なみ等都市部への木材利用の取組を広げていきます。

また、成熟した森林を伐採・利用し、植樹をして次世代の森を造っていく「循環型林業」や、森や緑を守り育む「あいち森と緑づくり事業」を推進することにより、多面的機能を持続的に発揮できる森林づくりを加速していきます。

こうしたことから、第70回全国植樹祭は、以下の理念により開催します。

私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、  
健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。

### 3. 大会テーマ

## 木に託す もり・まち・人の あす・未来

作 者 : おおいだ ゆうさく 大井田 雄策さん (東京都大田区)

制作意図 : 開催理念である「森林づくり」、「都市づくり」を進めることは、そこに住む「人づくり」にも通じることであり、今回の植樹祭で植える木から「森林をつくり」、「都市をつくり」、「人をつくる」ことで、明るい明日や未来をつかっていきたい。

全国から応募のあった899点の作品の中から、選定しました。

### 4. マスコットキャラクター

作 者 : もり ひでお 盛 秀雄さん (青森県青森市)

制作意図 : 愛知県の「A」の字をモチーフに、愛知県の森に住む、葉っぱを巻いた元気な女の子をイメージし、キャラクター化しました。  
手には、苗とシャベルを持たせ、大会テーマの「木に託す もり・まち・人の あす・未来」を強調し、表現しました。



森ずきんちゃん

全国から応募のあった855点の作品の中から、選定しました。

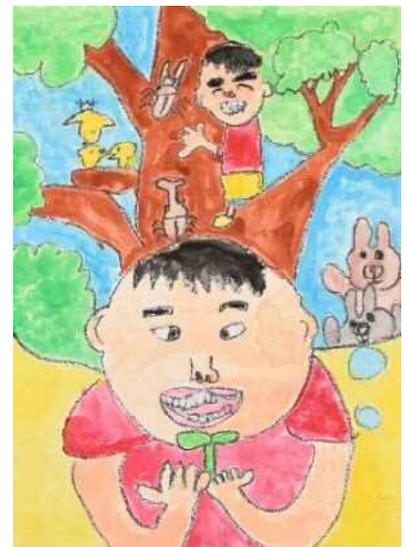
### 5. 大会ポスター原画

画 題 : 「ぼくの木」

作 者 : さいとう ゆうだい 齋藤 悠大さん (西尾市立津平小学校2年)  
※ 2017年度受賞当時

制作意図 : ぼくのうえた木に、大すきなかぶとむしやたくさんの生きものが、たのしくらせるようになるといいと思ってかきました。

愛知県内の小・中学校の児童生徒から応募のあった12,439点の作品の中から、選定しました。



### 6. 大会イメージソング

愛知県にゆかりがあり、またLOVEあいちサポーターズでもあるシンガーソングライターの岡村孝子さんに大会イメージソングを制作していただきました。

楽 曲 名 : 「と・も・に」

作詞・作曲・唄 : 岡村孝子

第70回全国植樹祭を広く県民の皆様にお知らせし、大会を親しみやすいものとしていくため、木づかい・森づくりへのメッセージを込めた大会イメージソングになっています。

## 7. 開催日

2019年 6月2日（日）

## 8. 主催

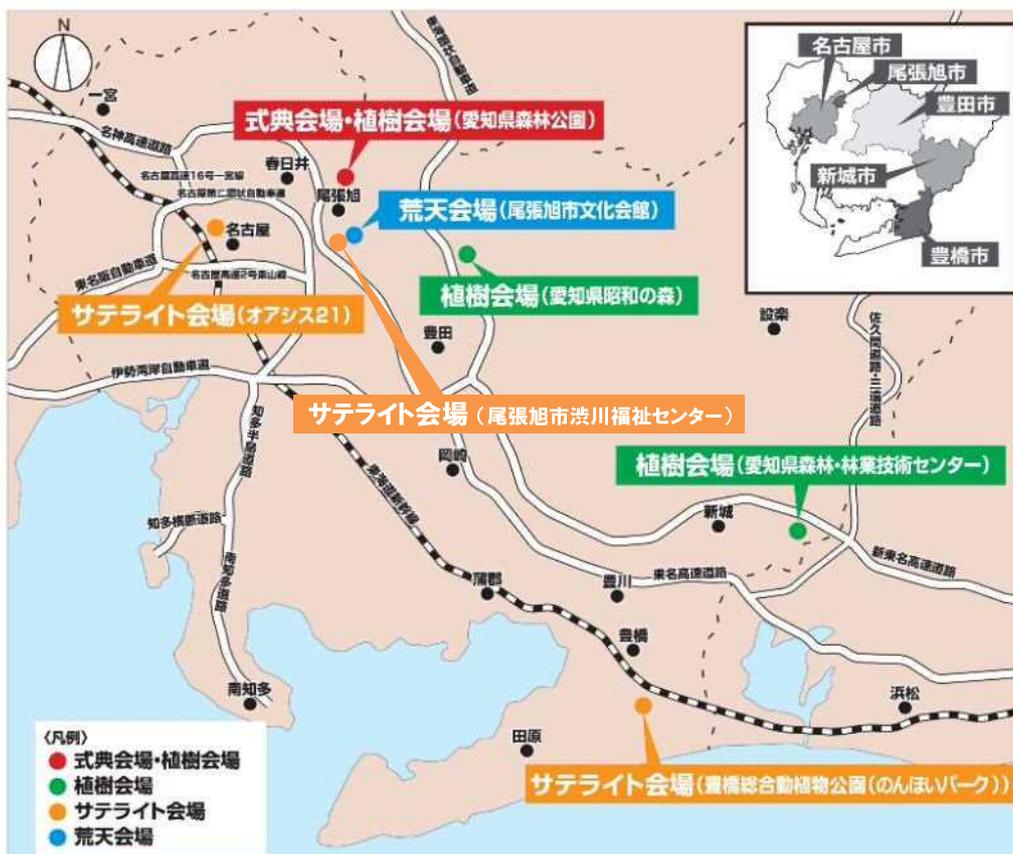
公益社団法人 国土緑化推進機構  
愛知県

## 9. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員合わせて10,000人程度の規模で開催します。  
ただし、荒天時は縮小します。

区分	参加予定者数	内訳
県外招待者	1,480人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	6,320人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、 県実行委員会、公募招待者 等
実施本部員	2,200人	県職員、市町村職員、ボランティア
合計	10,000人	

## 10. 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播きを始めとした式典行事を実施します。

《愛知県森林公園（愛知県尾張旭市大字新居5182-1）》

尾張丘陵の一角に位置しており、江戸時代前期には「えびづる御林」として保護されていたものの窯業などのために樹木が乱伐され、明治初期は一帯がはげ山となっていました。

県の治山事業等により植生が回復し、1934年に日本初の「森林公園」としてオープンしました。一般公園、運動施設、植物園、ゴルフ施設等を有しており、総面積は536haです。

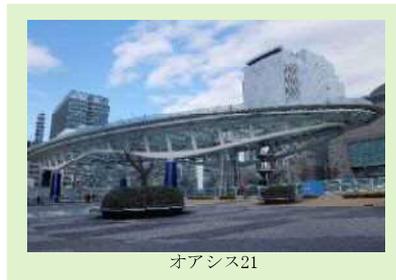


(2) 植樹会場及びその他の会場

式典会場の愛知県森林公園をはじめ、県内5ヶ所にて招待者の記念植樹を行います。また、県内3ヶ所に、サテライト会場を設置します。

《植樹会場及びその他の会場》

区分	会場名	
植樹会場	愛知県森林公園	休養の森 南門
	愛知県昭和の森	記念の森 四季の丘
	愛知県森林・林業技術センター	
サテライト会場	オアシス21	
	豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)	
	尾張旭市渋川福祉センター	



## 第2章 式典行事計画

### 1. 基本的な考え方

- ◆ 全国からの招待者はもちろん、多くの県民の皆様に、大会の開催理念や大会テーマ「木に託す もり・まち・人の あす・未来」を伝え、森づくりや木材利用の重要性を全国に発信します。

### 2. 式典の運営

- ◆ 式典の運営は、招待者の安全性、快適性に配慮し、みどりの少年団や林業等を学ぶ高校生を始めとした次世代を担う人材の協力を得ながら運営を行います。
- ◆ 県内全域で展開する植樹祭を目指し、式典会場の様子を映像としてサテライト会場へ配信します。



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

## 3. 式典進行プログラム

## (1) プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
9:55 ～10:23 (28分)	イントロ ダクション	大会概要、愛知県の紹介等	
10:23 ～11:00 (37分)	プロローグ	プロローグアトラクション	
		感謝状の贈呈	
		記念切手の贈呈	
11:00 ～11:55 (55分)	記念式典 【両陛下 御臨席】	記念式典案内	
		天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	(公社) 国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国家斉唱	
		主催者挨拶	大会会長、愛知県知事
		天皇陛下のお言葉	
		表彰	緑化功労者などへの感謝の表彰
		苗木の贈呈	農林水産関係高校生から、 農林水産大臣、文部科学大臣、 環境大臣ほかに苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
		メインアトラクション	大会テーマの表現
		大会宣言	(公社) 国土緑化推進機構理事長 農林水産関係高校生
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
閉会のことば	愛知県議会議長		
天皇皇后両陛下 御出発			
11:55 ～12:18 (23分)	エピローグ	エピローグアトラクション	

## (2) 登壇者一覧

No	登壇者名	登場場面
1	大会会長（衆議院議長）	① 天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ② 主催者挨拶 ③ 表彰（国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール） ④ 天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	（公社）国土緑化推進機構理事長	① 天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ② 天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③ 大会宣言 ④ 天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	愛知県知事	① 感謝状の贈呈 ② 記念切手の贈呈 ③ 天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④ 主催者挨拶 ⑤ 表彰（愛知県緑化功労者） ⑥ 天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦ リレーセレモニー ⑧ 天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	① 表彰（緑化功労者） ② 苗木の贈呈
5	文部科学大臣	① 表彰（全日本学校関係緑化コンクール） ② 苗木の贈呈
6	環境大臣	○ 苗木の贈呈
7	（公社）国土緑化推進機構副理事長	○ 開会のことば
8	島根県知事	○ リレーセレモニー・次期開催県知事挨拶
9	愛知県議会議長	① 表彰（愛知県緑化功労者） ② 閉会のことば
10	名古屋市長	○ 苗木の贈呈
11	尾張旭市長	○ 苗木の贈呈
12	豊橋市長	○ 苗木の贈呈
13	豊田市長	○ 苗木の贈呈
14	新城市長	○ 苗木の贈呈
15	農林水産関係高校生	① 苗木の贈呈 ② 大会宣言
16	受賞者 ① 大会テーマ ② マスコットキャラクター ③ 大会ポスター原画	○ 感謝状の贈呈
17	日本郵政（株）代表取締役社長	○ 記念切手の贈呈
18	受賞者 ① 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ② 緑化功労者代表 ③ 全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ④ 愛知県緑化功労者代表（2名）	○ 表彰

## (3) 出演者一覧

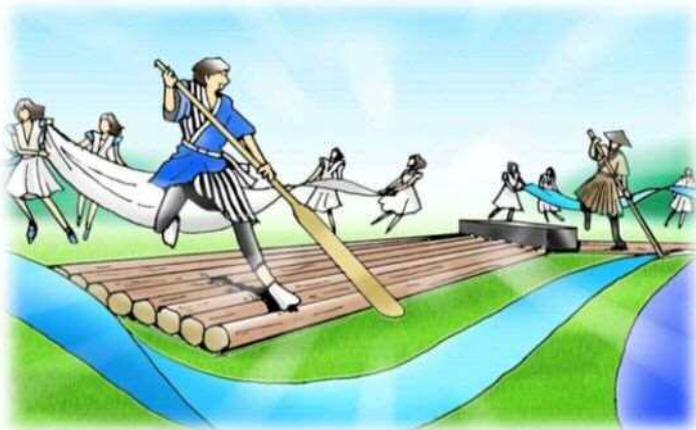
項目	人数	出演者／団体
総合司会	1名	○アナウンサー
手話通訳・要約筆記	5名	○一般社団法人愛知県聴覚障害者協会あいち聴覚障害者センター
式典進行役	3名	○学校法人南山学園 南山高等学校女子部 ○名古屋市立菊里高等学校 ○学校法人金城学院 金城学院高等学校
式典アシスタント	25名	○愛知県立愛知商業高等学校
式典音楽隊（合唱）	76名	○名古屋市立向陽高等学校 ○名古屋市立北高等学校
式典音楽隊（吹奏楽）	144名	○学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校 ○愛知県立旭野高等学校 ○学校法人中部大学 中部大学春日丘高等学校
介添え 三旗掲揚 苗木の贈呈 大会宣言	144名	○みどりの少年団 ・宮の森みどりの少年団 ・尾張旭みどりの少年団 ・旭丘小みどりの少年団 ・旭小みどりの少年団 ・三郷小みどりの少年団 ・渋川小みどりの少年団 ・城山小みどりの少年団 ・瑞鳳小みどりの少年団 ・東栄小みどりの少年団 ・白鳳小みどりの少年団 ・本地原小みどりの少年団 ○一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 ○一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟 ○農林水産関係高校 ・愛知県立猿投農林高等学校 ・愛知県立安城農林高等学校 ・愛知県立三谷水産高等学校 ・愛知県立稲沢高等学校 ・愛知県立新城高等学校 ・愛知県立田口高等学校
プロローグアトラクション メインアトラクション エピローグアトラクション	340名	○志多ら ○m o k o ○佐野文彦 ○岸みゆきバレエスタジオ ○平針木遣り音頭保存会 ○愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 ○学校法人名古屋自由学院 名古屋芸術大学 ○学校法人菊武学園 菊華高等学校 ○高森台小学校みどりの少年団 ○瀬戸市みどりの少年団 ○あいちコカリナアンサンブル
合 計	738名	

## 4. 式典演出の概要

## プロローグアトラクション

- 「過去」の誇り- “『あいち 木とものづくり歴史』”

山から伐り出した木材を筏にして、川を下り、都市に見立てた「木づかいの舞台」を作り上げていく様子を表現。



## 記念式典

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、緑化功労者等の各種表彰、大会宣言等。



お手植え



お手播き



苗木の贈呈



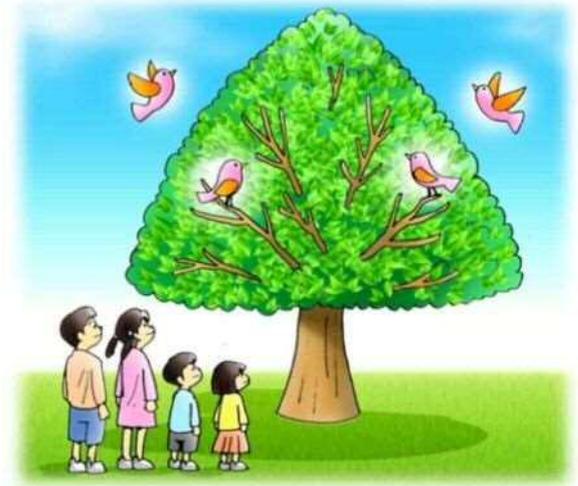
リレーセレモニー

参考例：第68回全国植樹祭富山大会

## メインアトラクション（大会テーマの表現）

- 「いま」の思い- 森林と都市をつなぐ<sup>もり まち</sup>“木の葉の大樹メッセージ”

県内全54市町村をキャラバンし、県民の方々からいただいた、未来の木づかいや森林づくりへのメッセージにこめられた思いが、大会イメージソングに合わせて木の葉の大樹となり、実を結ぶことを表現。



木の葉大樹（イメージ）

## エピローグアトラクション

- 「未来」への誓い- 森林と都市の<sup>もり まち</sup>“架け橋”を創る木づかいへの誓い

木製楽器のアンサンブル、映像を交えた音楽劇のパフォーマンス。

森林に見立てた「木の葉の大樹」と都市に見立てた「木づかいの舞台」を結ぶ“架け橋”を出演者全員で表現し、未来に向け、木づかいを誓う。



## 5. 音響・映像システム計画

### (1) 音響

- ◆ 屋外であるという会場の特性を考慮し、演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。
- ◆ 特別招待者席の両袖付近にメインスピーカーを設置するとともに、音ずれを防止するため、会場各所にサブスピーカーを設置します。
- ◆ 集音マイクは風対策を施し、質の高い音を再現します。



スピーカー

参考例：第68回全国植樹祭富山大会

### (2) 映像

- ◆ 大型映像装置（380インチ）を配置し、招待者がどこにいても式典の状況が分かるようにします。
- ◆ 大型映像を使って、式典プログラムの構成や演出を効果的に表現します。
- ◆ 特別招待者席には、モニター（40インチ程度）を設置し、大型映像装置と同じ映像を放映します。



大型映像装置

参考例：第69回全国植樹祭福島大会

6. 式典演出準備スケジュール

年度		2018年度												2019年度		
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体						開催日決定	実施本部設置					実施計画策定				
演出関係	構成・演出	構成・演出内容の決定						式典台本の作成・修正						リハーサル 式典 4月6日・総合 4月27日・荒天 5月18日・前日 6月1日		
	式典演技	演技内容の決定						演技内容の具体化								
	式典音楽	楽曲検討・決定 楽譜作成・調達														
	映像ソフト	映像構成の検討・素材収集						映像制作								
	音響・映像システム	使用機器・システム計画						システム設計作成・調整								
出演者関係	式典アシスタント	アシスタントの検討・決定						アシスタントの 研修・練習								
	介添え	介添え者の検討・決定						介添え者の 研修・練習								
	音楽隊	出演団体の検討・決定						個別練習								
資料関係	登壇者行動表	登壇者行動表の作成・調整														
	出演者行動表							出演者行動表の作成・調整								
	リハーサル計画							各リハーサル計画の作成・調整								
	マニュアル							各マニュアルの作成・調整								

第70回全国植樹祭 6月2日

## 第3章 植樹行事計画

## 1. 基本的な考え方

- ◆ 本県の気候風土に適し、植樹会場周辺に生育する在来の樹種を選定するなど、地域の特性に応じた森林づくりを目指します。
- ◆ 植樹会場周辺に生育している樹種で、原則として現在愛知県内で生育している樹木から採取した種子等から育成した苗木を植樹します。
- ◆ 苗木のスクールステイなどにより、子どもたちが育てた苗木も使用します。

※ 苗木のスクールステイ:全国植樹祭で使用する苗木の一部を県内の小中高生やみどりの少年団に育成してもらい取り組み。

会場	位置		内容	
式典会場	お手植え所		天皇皇后両陛下	お手植え
	お手播き所			お手播き
	特別招待者席前		招待者の代表	代表者記念植樹
植樹会場	愛知県森林公園	休養の森	県内外招待者 (代表者以外)	招待者記念植樹
		南門		
	愛知県昭和の森	記念の森		
		四季の丘		
愛知県森林・林業技術センター				

## 2. お手植え計画

- ◆ 天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- ◆ お手植えされた苗木は、森林づくり運動のシンボルとして、森林公園内で大切に管理・育成していきます。

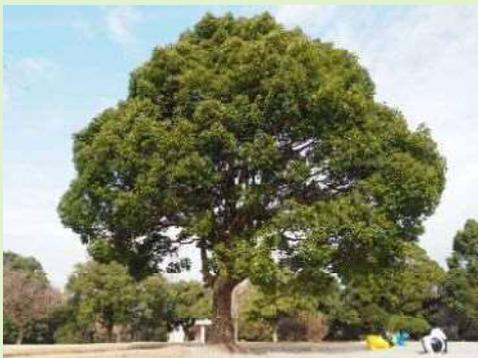
《 天皇陛下お手植え樹種（3種） 》



※ 花粉の少ないあいちニコ杉と従来の杉の比較

### スギ(あいちニコ杉)

- 愛知県の人工林の未来を担う少花粉スギ
  - 三河山間部は、江戸時代から「三河スギ」の産地として有名です。
  - 「あいちニコ杉」は、愛知県が推奨する花粉の飛散が少ない少花粉スギの愛称で、2013年度に公募により命名されました。



### クスノキ

- 愛知県の「市町村の木」選定数No.1、巨木の代表格
  - 愛知県森林公園がある尾張旭市と名古屋市を含め、県内の12市町村で「市町村の木」に選定されています。
  - 蒲郡市の「清田（せいだ）の大クス」が国の天然記念物に、岡崎市の「寺野（てらの）の大クス」と豊田市の「八柱（やはしら）神社のクス」が県の天然記念物に指定されています。



### フモトミズナラ

- 名前が変遷している珍しいドングリの木
  - 以前はモンゴリナラと呼ばれていましたが、ミズナラに似ているため、2006年に新たにフモトミズナラと命名されました。
  - 愛知県と岐阜県、そして北関東のみに分布する希少種で、県のレッドリストで準絶滅危惧に指定されている種です。

## 《 皇后陛下お手植え樹種（3種） 》

**シデコブシ**

- 白からピンクの花をつけ、里山の春を彩る代表的な木
- 愛知県・岐阜県・三重県のみ分布する固有種で、国のレッドリストで準絶滅危惧に、県のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている種です。
- 田原市の「栂（なぐさ）のシデコブシ自生地」が国の天然記念物に指定されています。

**ヒトツバタゴ**

- 春に白い花をつけ、雪に覆われたような姿が美しい木
- 別名「ナンジャモンジャ」として親しまれる、愛知県・岐阜県・長野県及び九州（対馬）に隔離分布する木で、国のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に、県のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類に指定されている種です。
- 犬山市池野の「ヒトツバタゴ自生地」が国の天然記念物に指定されています。

**シキザクラ**

- 開花時期が長い珍しい桜
- 春はもちろん、秋の彼岸頃から雪の降る冬にも花をつけるので、四季に咲くサクラという意味から「シキザクラ」と名づけられました。
- 豊田市小原地区周辺では、県指定の天然記念物となっている樹齢百年以上の名木を始め、約1万本が植えられています。

### 3. お手播き計画

- ◆ 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き箱へそれぞれ 2 種の播種とします。

《 天皇陛下お手播き樹種（2種） 》



#### ヒノキ

##### ● 愛知県の林業を支える木

- 愛知県の人工林で植栽面積が最も広い樹種です。
- 本植樹祭では、1979年第30回全国植樹祭において昭和天皇がお手植えされ、2003年第27回全国育樹祭で皇太子殿下がお手入れされたヒノキから採取した種子を使用します。
- お手播きされた種子は、愛知県が育て、県内の公共施設等に記念樹として配布します。

#### アベマキ



##### ● 愛知県の里山を代表する木

- 一般的に里山の代表樹種とされているのはコナラとクヌギですが、本県ではクヌギはほとんどなく、アベマキが目立ちます。
- 丘陵地～低山地に広がる痩せ山に多く、耐乾性があり、大木に育ちます。
- 名古屋市の「城山八幡宮の連理（れんり）のアベマキ」は縁結びの御神木として有名です。
- お手播きされた種子は、愛知県が育て、県内の公共施設等に記念樹として配布します。

## 《 皇后陛下お手播き樹種（2種） 》

## ハナノキ

## ● 早春につける紅色の花が印象的な「県の木」



- 愛知県を代表する木で、国のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に、県のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されている種です。
- 日本万国博覧会開催（大阪万博）を記念して実施された「緑のニッポン全国運動」の一環で、1966年の県民投票により県の木に選ばれました。
- 本植樹祭では、国の天然記念物に指定されている豊根村の「川宇連（かわうれ）ハナノキ自生地」から採取した種子を使用します。
- お手播きされた種子は、愛知県が育て、豊根村及び周辺の市町村（新城市・設楽町・東栄町）の公共施設等に限定し、記念樹として配布します。

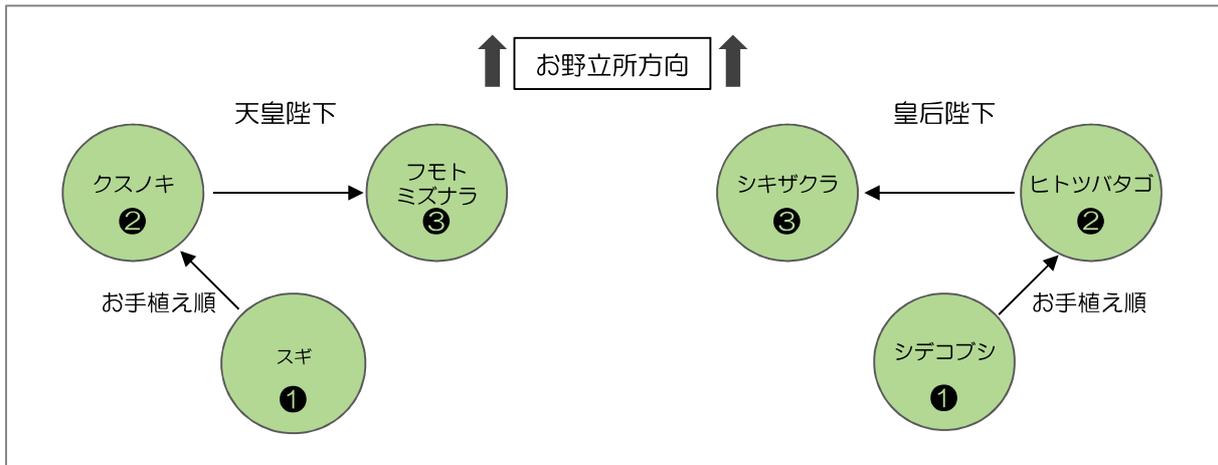
## マメナシ

## ● 春に白く可憐な花をつける野生のナシ

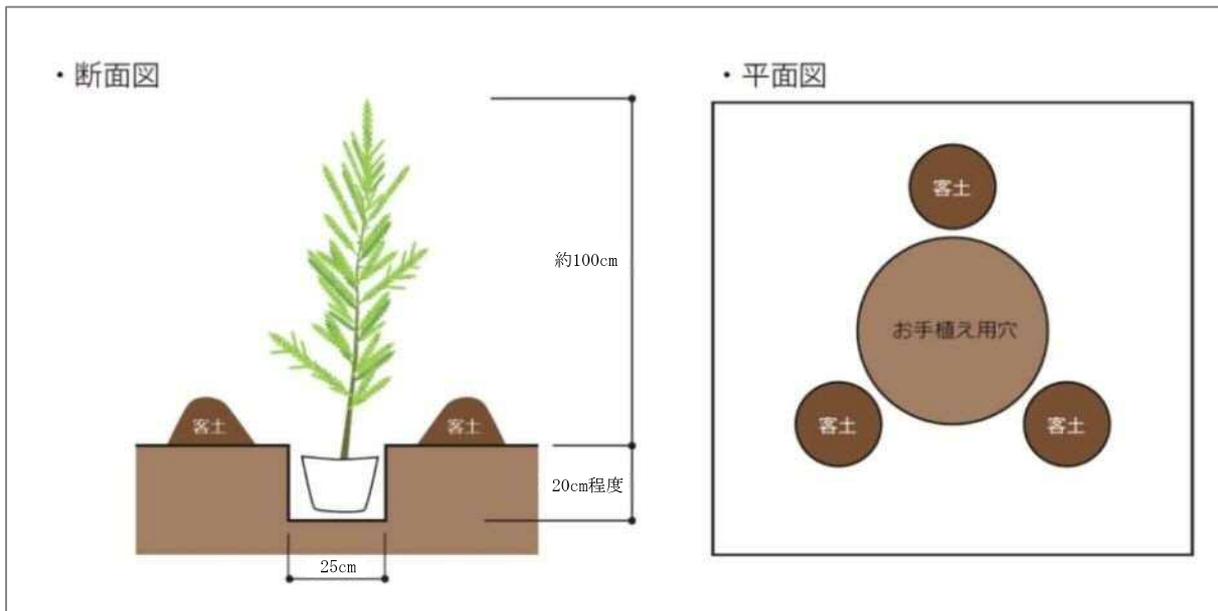


- 愛知県と三重県に分布する木で、国のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類に、県のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されている種です。
- 本県では名古屋市及び周辺市の湿地やため池の周りなどに自生しています。
- 小牧市の「大草（おおくさ）のマメナシ自生地」が県の天然記念物に指定されています。
- 本植樹祭では、森林公園内の自生地で採取した種子を使用し、お手播きされた種子は、愛知県が育て、採取地に限定して植栽します。

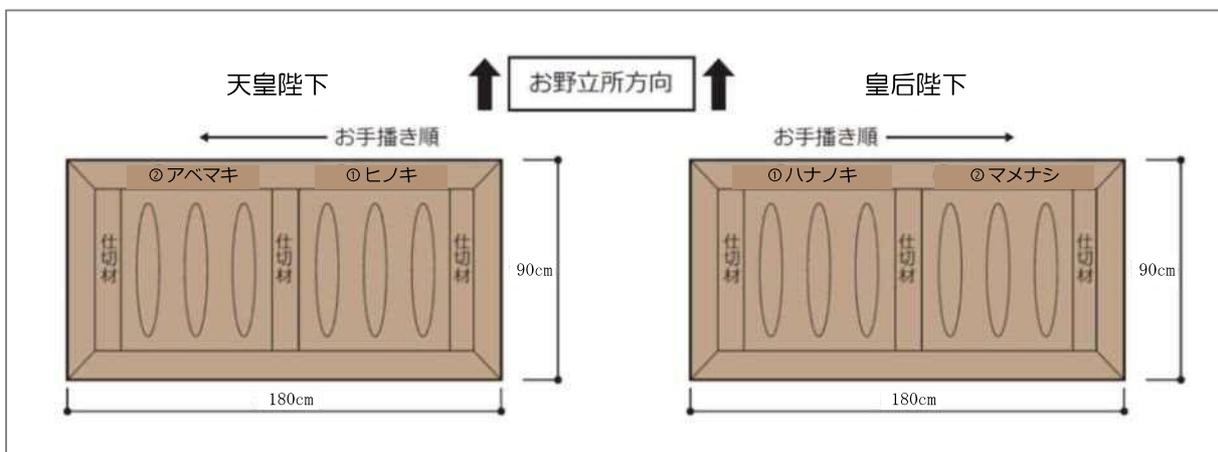
《 お手植え樹種配置図 》



《 お手植え標準図 》



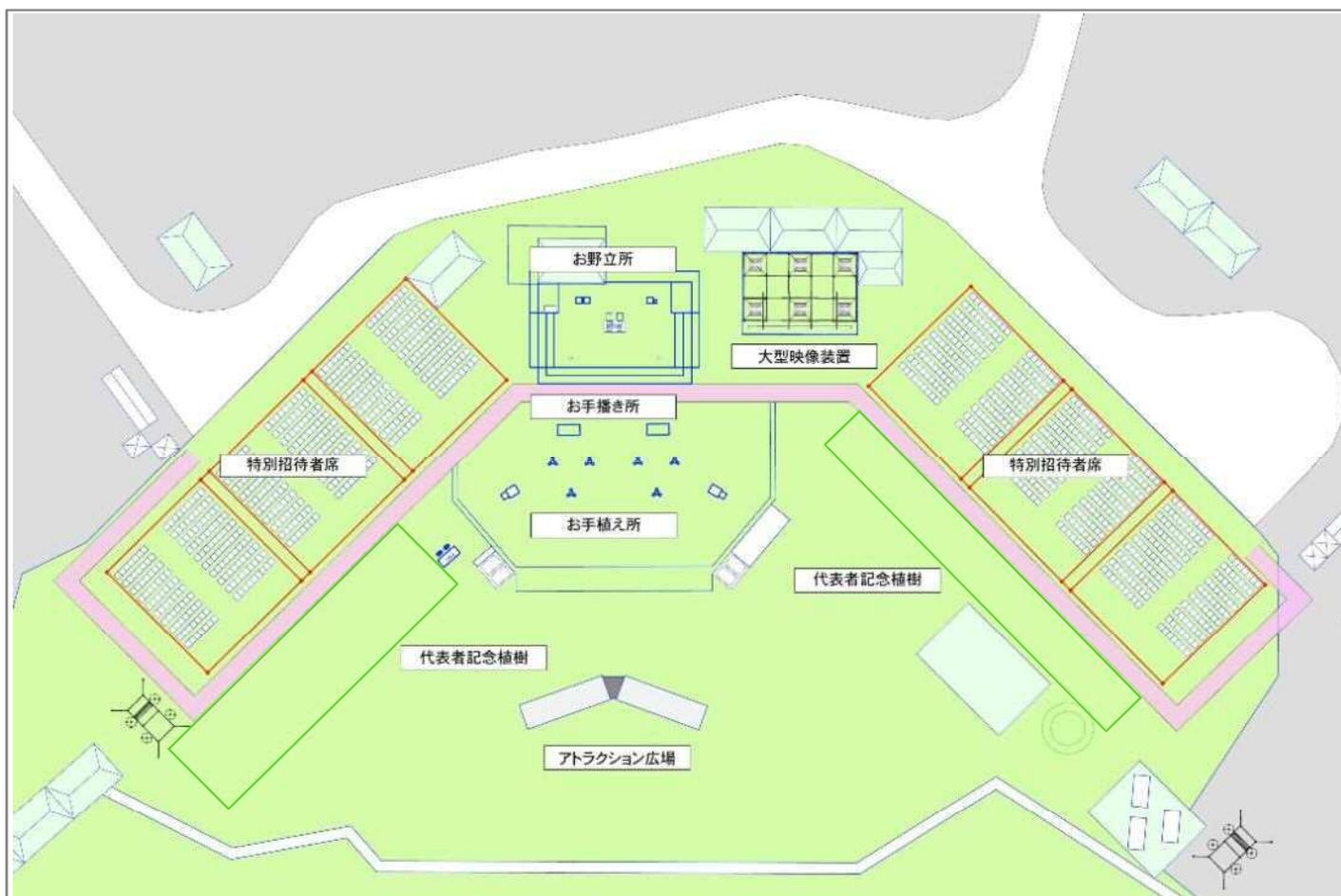
《 お手播き樹種配置図 》



#### 4. 代表者記念植樹計画

- ◆ 招待者代表は、天皇皇后両陛下の 2 本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- ◆ 場所は、特別招待者席前で行うものとし、1本の苗木を 2名で植樹します。
- ◆ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。

《 お手植え所・お手播き所及び代表者記念植樹配置図 》



## 5. 招待者記念植樹計画

- ◆ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による 1 人 1 本以上の記念植樹とします。
- ◆ 県外招待者は、式典行事開始前の午前に植樹し、県内招待者は、午前又は式典行事終了後の午後に植樹します。
- ◆ 植樹会場は、第70回全国植樹祭開催後、適正に維持管理します。

会場名		本数	樹種
愛知県森林公園	休養の森	2,500本	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクノキ、ウロミズザクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモミジ、エゴノキ、アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、ヤマモモ、ソヨゴ、コバノミツバツツジ、ムラサキシキブ、コバノガマズミ、ガマズミ、タニウツギ、アオキ、シャシャンボ
	南門	3,000本	
愛知県昭和の森	記念の森	1,400本	
	四季の丘	2,500本	
愛知県森林・林業技術センター		600本	スギ(あいちニコ杉(少花粉))
合計		10,000本	



参考例：第67回全国植樹祭長野大会



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

## 《 招待者記念植樹スケジュール 》

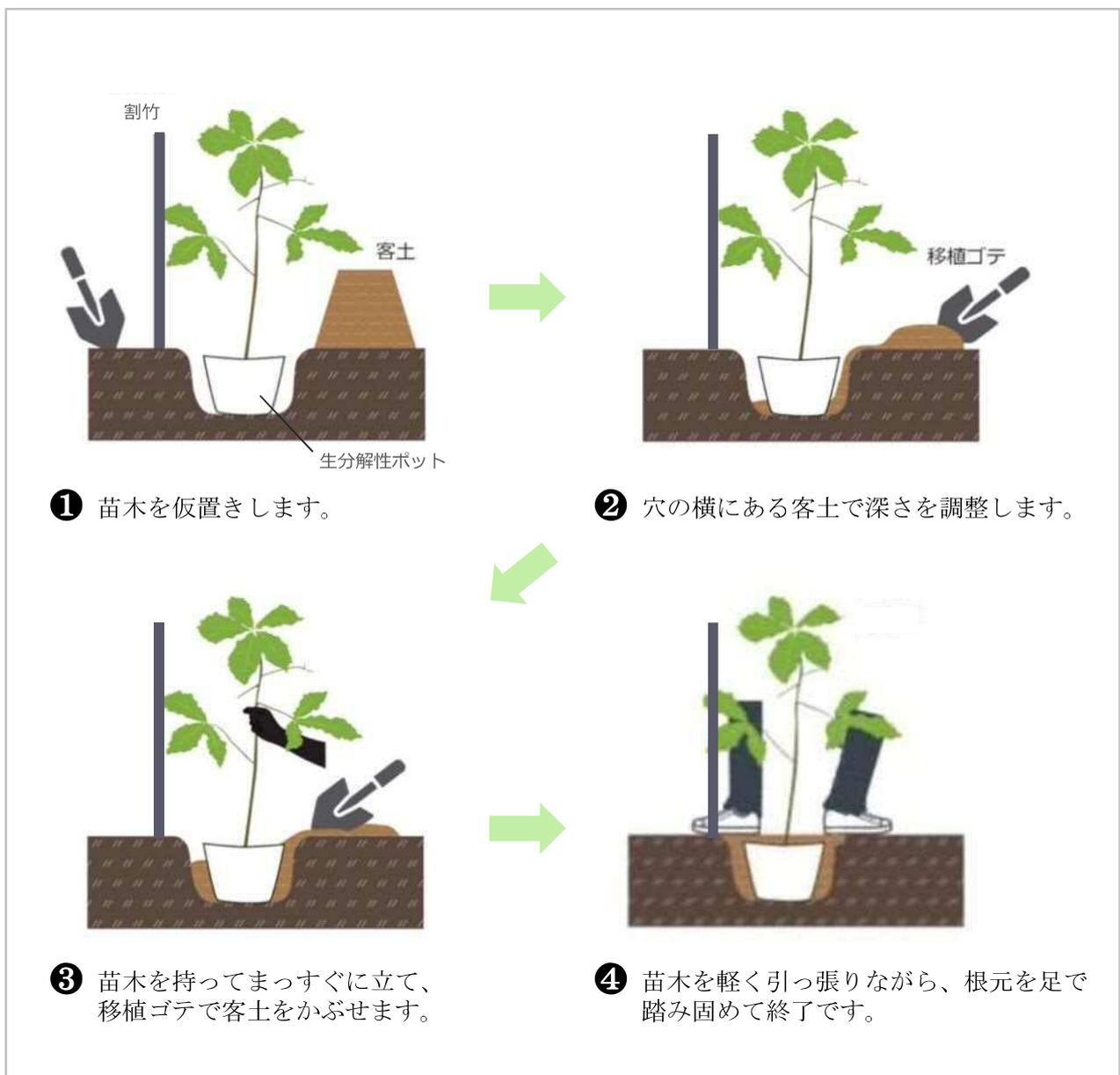
招待者区分	植樹会場	スケジュール	
県外特別招待者	愛知県森林公園 (休養の森)	午前植樹	バスで指定宿泊地から式典会場へ移動し、入場ゲートから徒歩で植樹会場へ移動する。
県内特別招待者			バスで指定集合地から式典会場へ移動し、入場ゲートから徒歩で植樹会場へ移動する。
県外一般招待者	愛知県森林公園 (休養の森)	午前植樹	バスで指定宿泊地から式典会場へ移動し、入場ゲートから徒歩で植樹会場へ移動する。
	愛知県森林公園 (南門)		バスで指定宿泊地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場へ移動する。
	愛知県昭和の森 (記念の森)		
	愛知県昭和の森 (四季の丘)		
県内一般招待者	愛知県森林公園 (休養の森)	午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場へ移動する。
	愛知県森林公園 (南門)		
	愛知県昭和の森 (記念の森)		
	愛知県昭和の森 (四季の丘)	午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ移動し、式典に参加した後、再びバスで植樹会場へ移動する。
	愛知県森林・林業 技術センター		

## 6. 植樹要領

### (1) 広葉樹

- ◆ 苗木のサイズに応じて、苗木の根元と地面の高さが同じになるように客土を入れ、幅・深さを調整します。
- ◆ 苗木はまっすぐになるよう手で支えながら、苗木の周りに移植ゴテで客土を入れます。
- ◆ 地面から少し盛り上がるまで土をかぶせたら、苗木を軽く引っ張りながら、根元の土を踏み固めて終了となります。

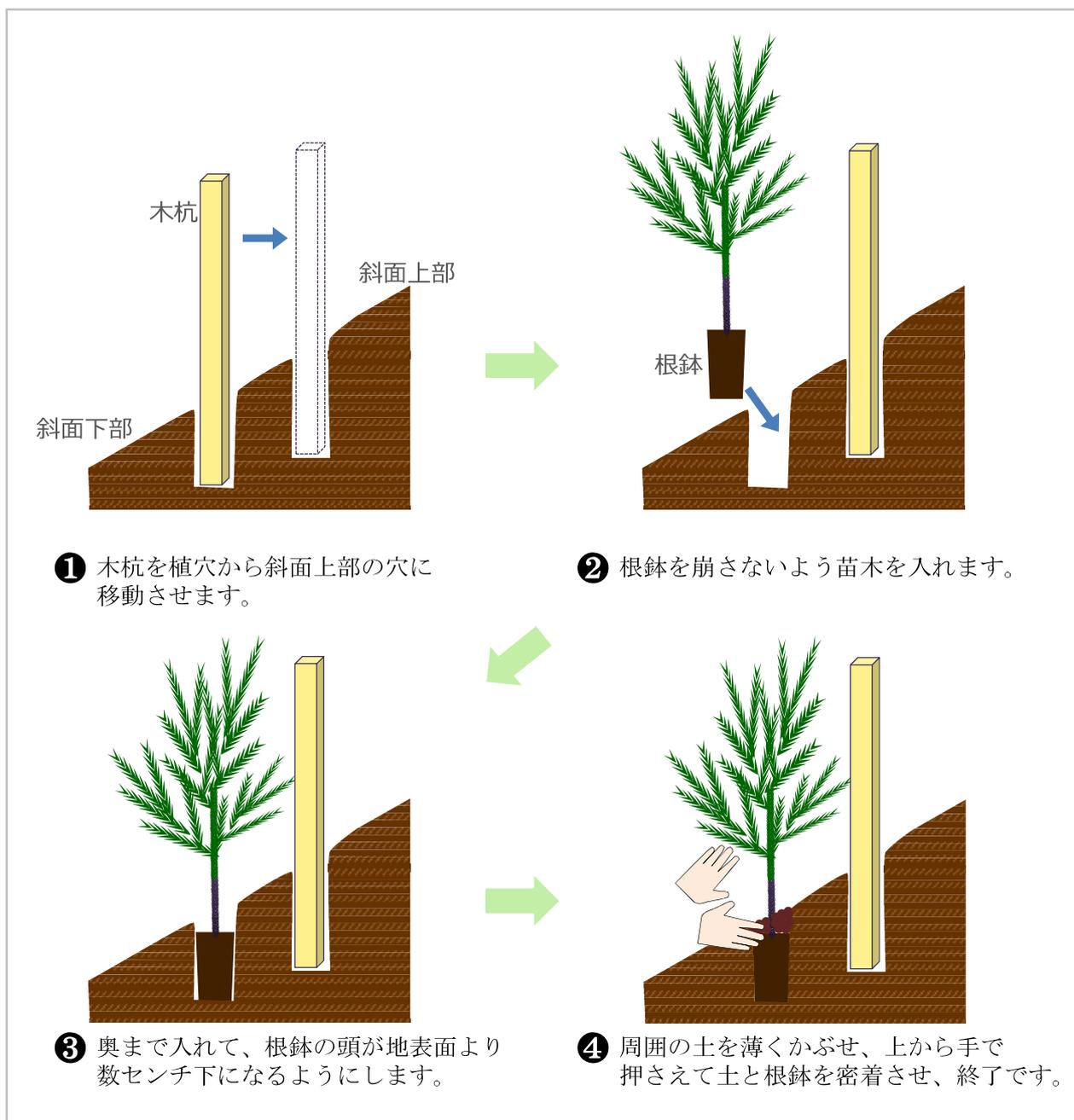
《 植樹要領図 》



## (2) スギ (あいちニコスギ (少花粉))

- ◆ 植穴に挿してある木杭を引き抜き、斜面上部に開いているもう一つの穴に移動させます。
- ◆ 苗木は根鉢 (根とそれを覆う土) の部分を崩さないよう、注意して植穴に入れます。
- ◆ 植穴の奥まで入れて、根鉢の頭が地表面より数センチ下になるようにします。
- ◆ 周囲の土を薄くかぶせ、上から手で押さえて土と根鉢を密着させ、終了です。

## 《 植樹要領図 》



## 7. 植樹会場整備計画

### (1) 愛知県森林公園（休養の森・南門）・愛知県昭和の森（記念の森・四季の丘）

◆ 有用広葉樹や多種多様な樹種を植栽し、人と自然が織りなす里山林を創出します。

① 愛知県森林公園（休養の森・南門）

《 会場位置図 》



《 会場平面図 》



◎ 愛知県昭和の森(記念の森・四季の丘)

《 会場位置図 》

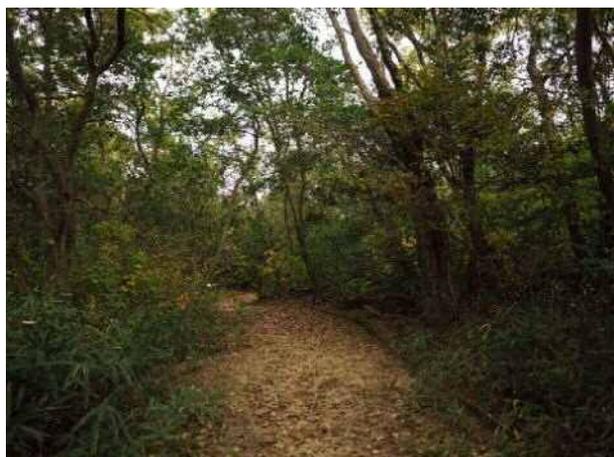


《 会場平面図 》



◎ 整備イメージ

《 現況 》



《 将来 》



(2) 愛知県森林・林業技術センター

◆ 花粉の少ないスギ（あいちニコ杉）を植栽し、循環型林業を推進します。

《 会場位置図 》



《 会場平面図 》



《 現況 》



《 将来 》



植樹会場の管理イメージ



## 第4章 会場整備計画

### 1. 基本的な考え方

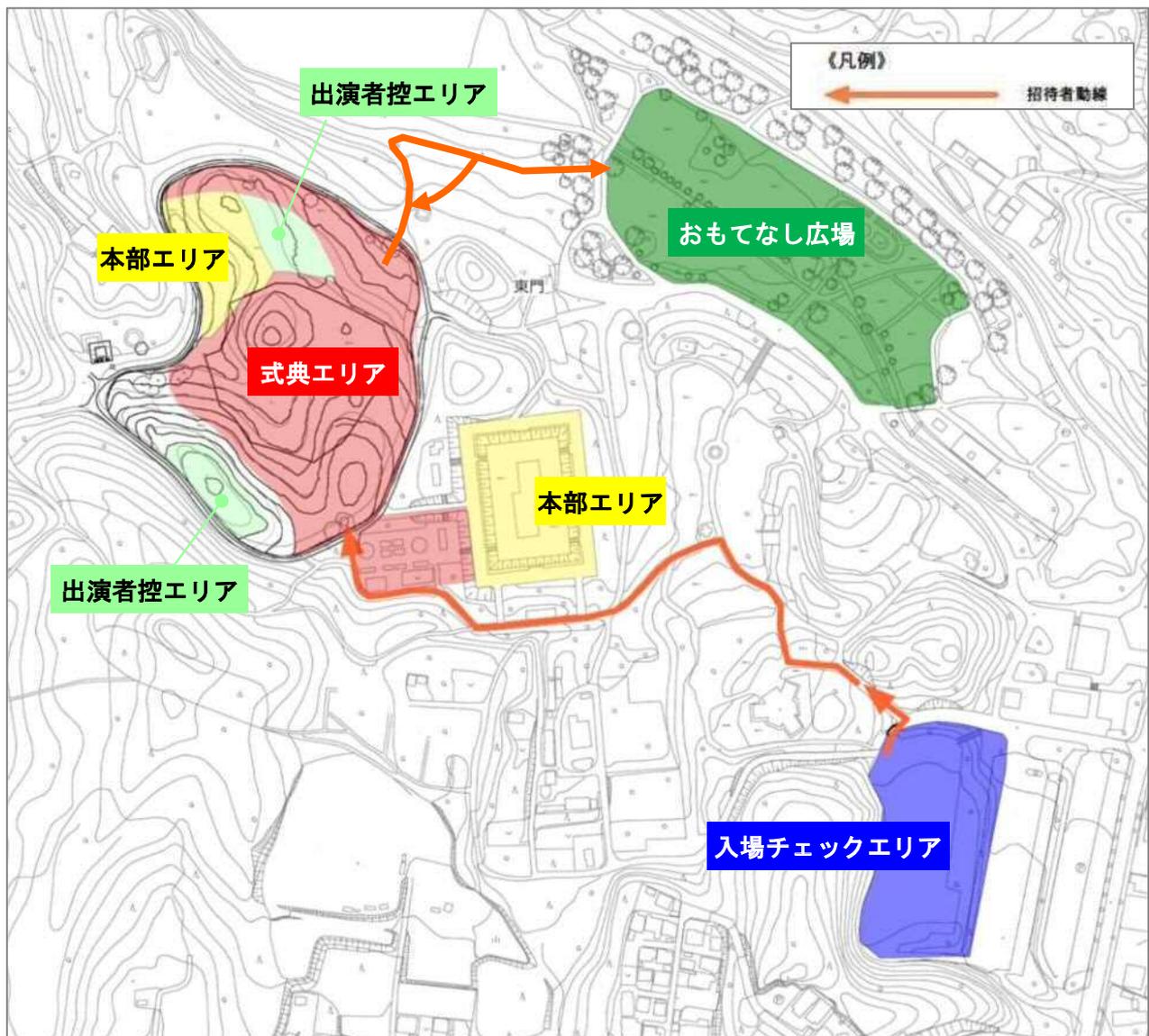
- ◆ 会場の整備にあたっては、安全性や機能性を考慮し、招待者が安心して快適に参加できるよう配慮します。
- ◆ 会場に設置する構造物等には、積極的に県産の木材や花きを使用します。

### 2. 施設配置計画

#### (1) 会場周辺状況

- ◆ 会場は、式典エリア、おもてなし広場、本部エリア、出演者控エリア、入場チェックエリアにゾーン分けします。

《 会場ゾーニング図 》



(2) 式典エリアイメージ



(3) 式典エリア配置図



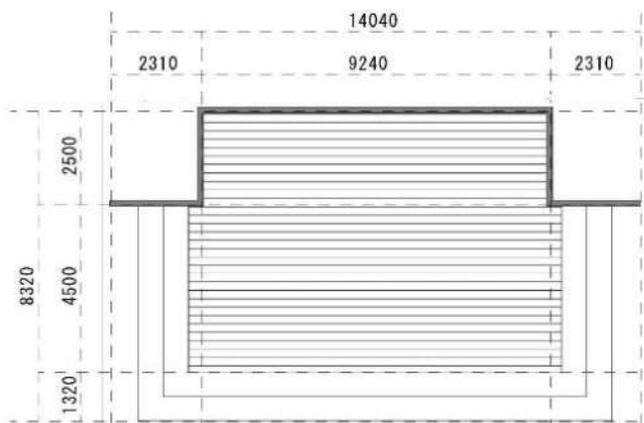
### 3. 主要施設計画

#### (1) お野立所

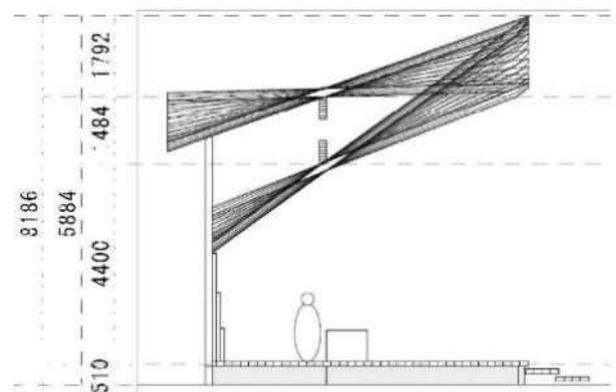
- ◆ 山・川・平野・海といった多様で豊かな環境に恵まれるとともに、「ものづくり王国」として技術と伝統が息づき、地理的にも日本の中心である愛知県から、これからの「木づかい」や「森林づくり」を全国に発信することをイメージし、広がりのある開放的な施設とします。
- ◆ 一般に流通している柱材を利用しながら、曲線的なフォルムを描くことで、「木づかい」を大きく羽ばたかせ、明日へつなぐ本県の姿勢を表現します。
- ◆ 「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業をはじめ、愛知県が推進する木づかいからの森林づくりをPRするため、全てに県産木材を使用します。



(単位：mm)



平面図

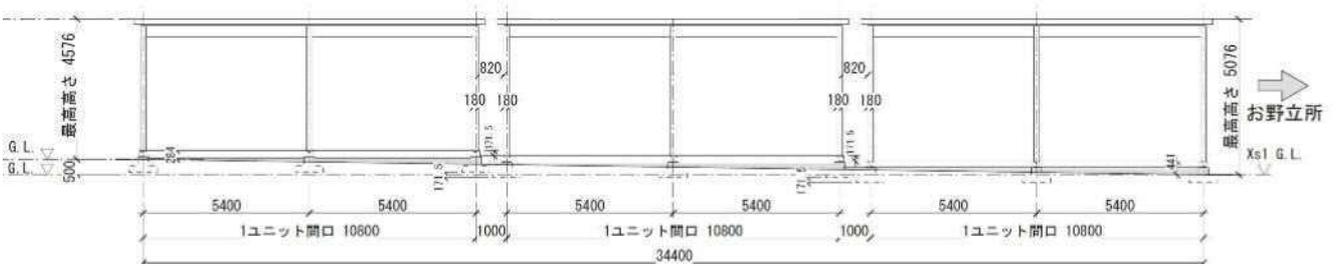


側面図

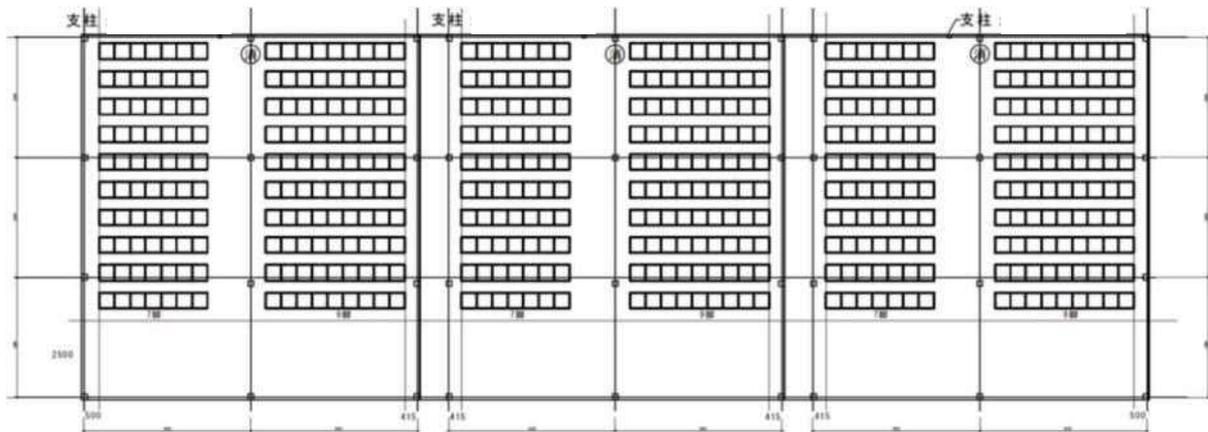
(2) 特別招待者席

- ◆ 特別招待者席は、全て県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

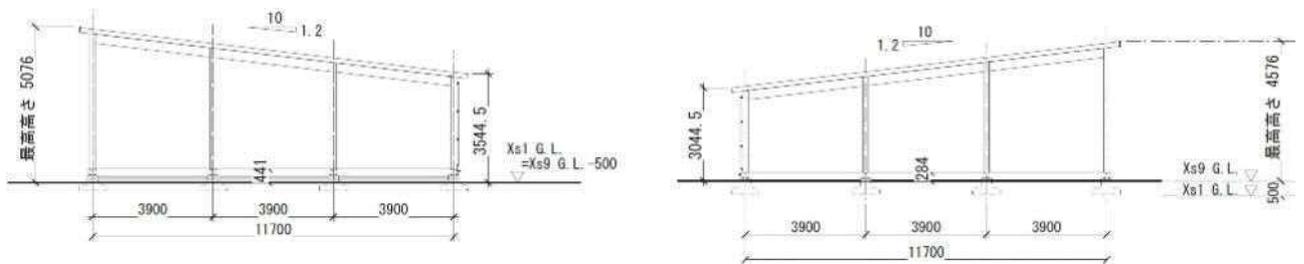
(単位 : mm)



正面図



平面図



側面図

## (3) 木製品

- ◆ 木製品については、県産木材を使用します。
- ◆ 使用した椅子、ベンチやプランターカバーは公共施設へ配布するなど、活用方法を検討します。

演台



プランターカバー



お手播き箱



ベンチ



参考例：第69回全国植樹祭福島大会

## 4. サイン計画

- ◆ 招待者が安全かつスムーズに式典や記念植樹などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- ◆ 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、絵文字を使用する等、招待者が一目で分かるようなサインとします。
- ◆ 案内サインの材料には、県産木材のほか、再生可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

設置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典会場	座席表示	中央特別招待者には、各席に席札を貼付 特別招待者入口には座席配置表を設置 一般招待者席は、バス号車単位で座席を表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示
植樹会場	植樹地誘導	バス号車ごとに決められたブロックへ誘導するサインを動線上に設置
	植樹位置	バス号車単位に決められた植樹ブロックを表示
	式典会場誘導	植樹終了後、式典会場へ誘導するサインを動線上に設置
輸送バス	バス号車	添乗員が招待者を誘導する際、バス号車を表示したプラカードを使用
	バス誘導	会場周辺の動線に従い、招待者乗降位置や駐車場へ誘導するサインを設置



参考例：第69回全国植樹祭福島大会

## 5. 飾花計画

- ◆ 式典会場及び周辺の飾り花は、「花の王国あいち」らしく、県産の花きを使用し、会場を華やかにするとともに、招待者の安全かつ円滑な動線を確保するよう配置します。
- ◆ お野立所周りは、かがり弁菊等、本県が全国に誇る花きの生花で飾花します。

設置区域	内容
入場チェックエリアから式典エリアまで	招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを設置。
式典エリア	県産木材と切り花を融合させたモニュメントを設置。
式典所	式典エリアを明確にするるとともに、雰囲気を引き立てるようプランターを設置。
式典エリアとおもてなし広場の連絡通路	招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを設置。
おもてなし広場	広場内における招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを設置するとともに、「花の王国あいちPRコーナー」等を設置。



参考例：第67回全国植樹祭長野大会



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

## 《 花の種類選定 》

No.	花名	花色	写真	特徴	設置場所	
					式典所	式典会場 及び周辺
1	アジサイ	ピンク系 4色		愛知県が全国有数の生産量を誇る鉢花（花木）で、梅雨の季節に最も旬を迎えます。青やピンク、ガク咲きや手まり咲等、色や形の変化に富み、多くの園芸品種があります。花言葉は「家族団らん」、「辛抱強い愛情」。	○	
2	キク (かがり弁菊)	白		愛知県が育成した新奇性の高い菊で、花びらの先端に複数の突起がある「かがり弁」を持つ華やかなイメージが特徴です。菊は皇室の紋章にも使われ、花言葉は「高貴」、「高潔」。	○	
3	キク (マム)	黄 ピンク 赤 グリーン ミックス		愛知県が生産量日本一の切り花で、色や形がバラエティーに富み、洋風、和風どちらでも合い、様々なフラワーアレンジや花束に利用されています。花言葉は「清らかな愛」、「謙遜」。	○	○
4	マリーゴールド	オレンジ 黄色		初夏から秋まで花壇などを彩るキク科の花で、色鮮やかな黄色やオレンジが特徴です。花言葉は「生命の輝き」、「可憐な愛情」。		○
5	サルビア・ スプレンドゥス	赤		夏から秋まで花壇などを彩るシソ科の花で、暑さや乾燥に強く、あでやかな緋色の花穂が特徴です。花言葉は、「家族愛」、「燃える思い」。		○
6	ジニア・ プロフェュージョン	赤 ピンク 白		夏から秋まで花壇などを彩るキク科の花で、100日以上次々と咲き続ける多花性が特徴です。花言葉は、「幸福を招く」、「遠くの友を思う」。		○
7	ペンタス	赤 ピンク 白		夏から秋まで花壇などを彩るアカネ科の花で、星形の小さい花を30～40輪傘状に咲かせるのが特徴です。花言葉は「希望が叶う」。		○
8	ニチニチソウ	赤 ピンク 白		夏から秋まで花壇を彩るキョウチクトウ科の花で、5弁の花を次々と咲かせることから日々草と呼ばれる。花言葉は「楽しい思い出」。		○
9	トレニア	青 紫 白		夏から秋まで花壇を彩るゴマノハグサ科の花で、夏の暑さに強く、スマレの花に似た筒状の花をたくさん咲かせるのが特徴です。花言葉は「大切な人のそばで」、「温和」。		○

## 6. 電気・給排水・通信設備計画

### (1) 電気設備計画

- ◆ 会場内で使用する電源は商用電源を引き込むほか、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

### (2) 給排水計画

- ◆ 水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

分類	種類	内容
給水	飲料水	原則ミネラルウォーターを供給する。
	手洗い水	給水タンク一体型手洗いユニットで対応する。
	トイレ洗浄水	専用液で対応する。
排水	汚水・雑排水	タンク貯蔵し、専門業者により回収・処理を行う。

### (3) 仮設トイレ計画

- ◆ 式典会場の各エリア毎に適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

設置エリア	
式典エリア	おもてなし広場
本部エリア	出演者控エリア

### (4) 通信設備計画

- ◆ 運営を円滑に行うため、会場の実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話やトランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

## 第5章 運営計画

## 1. 基本的な考え方

- ◆ 全国から参加される皆様を、県民全体が「おもてなしの心」でお迎えます。
- ◆ 招待者の安全・安心を確保し、快適・清潔に過ごしていただけるよう、大会の円滑な運営を行います。

## 2. 招待計画

## (1) 区分及び規模

参加者区分		人数
県外招待者	公益社団法人国土緑化推進機構理事長と第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会長との協議により定める者、各都道府県知事が推薦する者	1,480人
県内招待者	第70回全国植樹祭愛知県実行委員会会長が推薦する者、愛知県の市町村長が推薦する者、公募による一般県民	6,320人
小 計		7,800人
実施本部長	県職員、市町村職員、ボランティア	2,200人
合 計		10,000人

## (2) 運営にあたっての区分

参加者区分	人数	備 考	
◎ 中央特別招待者	30人	公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、愛知県知事、愛知県議会議員、次期開催県知事等	
◎ 特別招待者	県外特別招待者	450人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	県内特別招待者	750人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小 計	1,200人	
◎ 一般招待者	県外一般招待者	1,000人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	5,570人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小 計	6,570人	
招待者小計 ◎ + ◎ + ◎	7,800人		
◎ 実施本部長	2,200人	県職員、市町村職員、ボランティア	
計 ◎ + ◎ + ◎ + ◎	10,000人		

### 3. 行動計画

#### (1) 前日スケジュール

時間	全体進行 (人数)	中央 特別招待者 30人	特別招待者		一般招待者		実施本部員 2,200人
			県外 450人	県内 750人	県外 1,000人	県内 5,570人	
午前							指定集合地 ↓ 式典会場 リハーサル ↓ 昼食
午後	レセプション	駅・空港 等 ↓ レセプション受付 ↓ レセプション ↓ 指定宿泊地			↓ 帰宅	↓ 指定宿泊地 大会参加受付 夕食等	式典会場 リハーサル ↓ 指定集合地

(2) 当日スケジュール

時間	全体進行 (人数)	中央 特別招待者 30人	特別招待者		一般招待者		実施本部長 2,200人	
			県外 450人	県内 750人	県外 1,000人	県内 5,570人		
6:00					指定宿泊地	指定集合地	指定集合地	
7:00			指定宿泊地	指定集合地 指定宿泊地	指定宿泊地	指定集合地		
8:00	おもてなし 広場	指定宿泊地	入場チェック		入場 チェック	記念植樹 (植樹会場)	各配置場所	
9:00		到着	記念植樹 (植樹会場)		記念 植樹	入場チェック		
		着席	会場散策					
			着席					
10:00	プロローグ	プロローグ						
11:00	記念式典	記念式典						
12:00	エピローグ	離席	エピローグ					
13:00	おもてなし 広場	昼食 (昼食会場)	昼食・会場散策			昼食 会場散策		
14:00		駅・空港	順次会場出発			順次 会場出発		
15:00			駅・空港	指定集合地	駅・空港	記念植樹 (植樹会場)	指定集合地	
						指定集合地	指定集合地	

※ 招待者の行動計画は変更となる場合があります。